



市民と野党の
共闘で

日本共産党参議院議員
岩 渕
いわぶち 友
国会報告

いのちとくらしを守る 政治の実現を!

国会に送り出していただいて5年。
菅政権は、コロナ禍で苦しむ国民への対応よりオリンピックを優先し、病床削減推進法、高齢者医療費2倍化法、改憲をにらんだ国民投票法改定を強行してきました。
こうしたもとでも、市民と野党の共闘で、

入管法改定案を廃案に追い込み、北海道、長野、広島の国政選挙で野党が全勝し、都議選でも重要な成果をあげました。
共闘の力で、強権と腐敗政治の菅政権を終わらせ、国民が安心して暮らせる新しい政治の実現のために頑張ります。

5年間で質問・
討論等 122回

コロナ対策 事業者支援を

長引くコロナ禍のもと事業者の深刻な実態、悲痛な訴えを梶山経済産業大臣に突きつけてきました。コロナ禍が続くなか、事業者の声で実現した持続化給付金を打ち切った菅政権。日本共産党と立憲民主党が衆議院に共同提出した再支給法案の実現、給付要件の緩和や対象の拡大など、直接支援の拡充を求めます。



経産省申し入れ
(全商連の皆さんと)

東日本大震災・東電福島第一原発事故10年 —国、東電は責任果たせ

汚染水海洋放出の決定撤回を!

「漁業者との約束を反故にするな」「聞き置くだけの議論は許せない!」と反対の声が広がっています。対案も示しながら引き続き、海洋放出の決定撤回を迫ります。

10年にあたり、政府として被災者と被災地の実情を調査、把握し、必要な支援の継続・強化をはかるよう求めました。



漁業者の皆さんと懇談
(いわき市・高橋千鶴子衆院議員と)

くらしと生業再建まで 支援継続・強化を



福島県農民連の皆さんと(首相官邸前)



平沢復興大臣に申し入れ(志位和夫委員長、高橋千鶴子衆院議員、紙智子参院議員と)

●経済産業委員会理事 ●決算委員 ●東日本大震災復興特別委員 ●国民生活・経済に関する調査会理事

NO.5 [2021年]

発行 ●いわぶち友 国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1002号室
☎03-6550-1002 FAX03-6551-1002

●HP更新中
<http://iwabuchi-tomo.jp/>



ジェンダー平等社会実現を

政治分野における男女共同参画推進法改正案が成立。超党派議員連盟で、実態把握、見直し議論に取り組んできました。



改正法成立後の超党派議員連盟総会
（「クオータ制を推進する会」の皆さんと）

原発ゼロの決断 ふるさと喪失の賠償を

原発事故で被害者の「ふるさと」を奪った国と東電の責任を追及。

賠償基準の見直しが必要です。引き続き迫っていきます。



「原発をなくす全国連絡会」の皆さんから原発ゼロ基本法の
早期制定求める署名受け取り

東北、北海道の声を国政に



新幹線残土問題調査
（北斗市・紙智子参院議員、はたやま和也前
衆院議員と）

「豪雪対策・支援早く」と防災担当
大臣(当時)に申し入れ(高橋千鶴子
衆院議員、紙智子参院議員と)



福島県沖地震現地調査
（高橋千鶴子衆院議員と）



紙智子参院議員、はたやま和也前
衆院議員と(北海道)



地方議員団・地元の皆さんと力を合わせて



メガソーラー問題調査
（宮城県丸森町・ふなやま由美候補と）

地域と
共生する
再エネを



パーム油発電所問題調査
（宮城県石巻市・高橋千鶴子衆院議員、ふなやま由美候補と）

経産大臣が
アセス逃れ防止基準
見直しを約束

地域外の大手事業者により、地元住民や議会の合意無しに大規模開発を伴う再エネ事業計画が全国各地ですすめられています。再エネは本来、地域固有の財産であり地域住民の利益につながるべきと指摘し、地元無視の事業中止を経産大臣に迫りました。

木材価格高騰 地域経済守れ

新型コロナの影響により価格が数倍にもなり中小工務店が苦しんでいます。国として、省庁横断で既存の枠を超えた支援を求めました。



関係省庁に要請(全商連の皆さんと)